BOSE®

OWNER'S MANUAL

モービル・パワー・アンプ B-2140

このたびはボーズの車載用パワーアンプB-2140をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。本機を正しく、また性能を十分にいかしてお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでも必要なときにご覧になれるように保管しておいてください。

特　長

高い変換効率を実現するパワーMOS FET

スイッチング電源部に高い変換効率を誇るパワーMOS FETを採用。ステレオ使用時で定格出力70W+70W（4Ω）、モノラル（BTL）使用時では180W（4Ω）の高出力を達成しました。また、電源部の大容量化によって大電流供給能力を確保するとともに、優れた高周波特性、高いスイッチング速度を達成しました。

小音量時でもバランスのとれた音を生みだす "PsychoAcoustically Processed" 回路内蔵

人間の耳は音量が小さくなるにしたがって、低域と高域が聞こえにくくなる性質を持っています。このため、大きな音では自然に聞こえる再生音も小音量になると中域だけが目立つ、もの足りない音になってしまいます。そんな人間の聴覚を研究し、どんな再生レベルでも聴感上もっとも自然な周波数バランスに聞こえるよう、常に自動的にコントロールします。

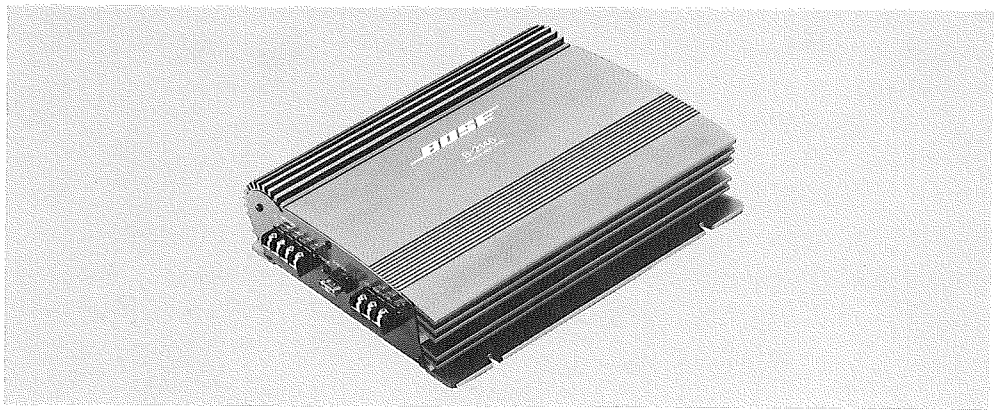
アンプやスピーカーの破損を防ぐ、3種類の保護回路

B-2140には、スピーカー端子のショート、電源の⊕⊖の逆接続と、アンプの温度上昇など、アンプやスピーカーの破損を防止するプロテクション回路が内蔵されています。

電源部へのノイズの飛び込みを抑えるグラウンドフローティング回路採用

イグニションノイズやオルタネーターノイズ等、音質に悪い影響を与えるノイズ成分をシャットアウトします。

B-2140取扱説明書

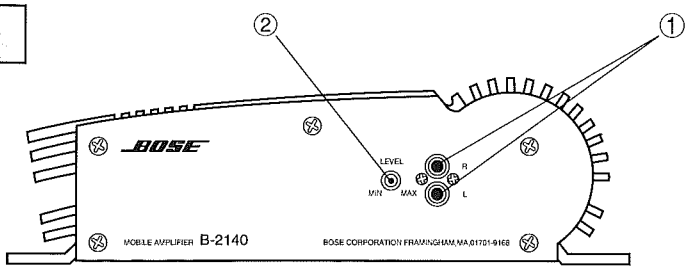


開梱時のご注意

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお近くの販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称

◆入力側パネル◆



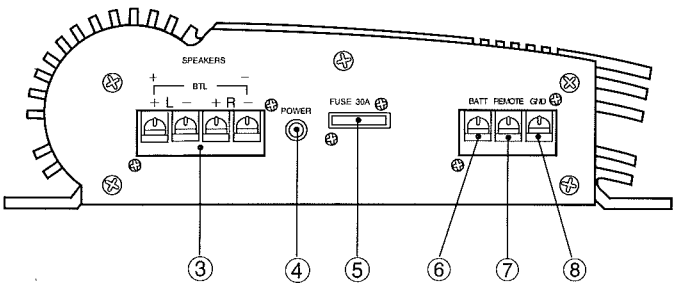
① 信号入力端子

RCAピンジャックです。ヘッドユニットからのローレベル信号をR（右チャンネル／赤）、L（左チャンネル／白）にそれぞれに入力します。

② LEVEL（入力レベル調整ボリューム）

入力する信号の大きさを調整します。時計方向に回すと音量が上がります（マイナスドライバーで調整します）。

◆電源入力、スピーカー出力端子側パネル◆



③ SPEAKERS（スピーカー出力端子）

スピーカーと接続します。Lは左チャンネル、Rは右チャンネルのスピーカー用の端子です。本機をモノラル駆動させるときには、スピーカーコードをBTL使用時の極性にあわせて接続します。

④ パワーインジケーター

電源が入ると黄のランプが点灯します。

⑤ ヒューズ

30Aのヒューズです。過大電流などから本機を守ります。

⑥ BATT（電源接続端子）

バッテリーの⊕端子に接続します。

⑦ REMOTE（リモート端子）

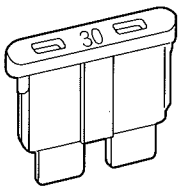
ヘッドユニットのリモート出力等を接続します。

⑧ GND（グラウンド端子）

なるべく太いコードを短くなるように使用して確実にアースポイントにつないでください。

付属品

ヒューズ（30A）×1
（スペア用）



取り付けについて

本機の取り付けは専門のカーショップにご依頼されるようお勧めいたします。もしご自分で取り付けを行なう場合には、必ず本説明書にしたがって作業をお進めください。

※本機は4点支持マウント方式になっています。不安定な場所は避け、必ず4点すべてをしっかりと固定してください（取付用のネジ類は付属されておりませんので別途ご用意ください）。

本機を設置する場合、次のような場所には設置しないでください。性能の劣化や故障の原因となります。

- ●エンジンルーム内
- ●ヒーターのダクト近く
- ●直射日光が当たる場所
- ●湿気や水分のあるところ。雨水などがかかるところ。

接続について

●金属部に配線を通す場合には、ショートを防止するためにゴム製グロメット等を使用することをお勧めいたします。

●ショート事故防止のために配線作業は必ずカーバッテリーの㊀端子側のコードを外した状態で行なってください。

電源系の配線（○数字は各部の名称をご参照ください）

●本機のBATT（電源接続端子）⑥とカーバッテリーの㊉端子をなるべく太い電線を使用して直接接続します。

●GND（グラウンド端子）⑧と車体の金属部分の確実にアースにつながっている部分をなるべく太い電線で接続します。ノイズ防止のため、できるだけ短くすることをおすすめします。

※本機には30Aのヒューズが内蔵されていますが、ショートによる火災事故等を防ぐために、電源接続端子とカーバッテリーの㊉端子との間に30Aのヒューズを入れておくことをお勧めいたします。また、電源コードは安定した電流供給を確保するためできるだけ太いものをご使用ください。

REMOTE端子の接続

本機の電源のON/OFFを行なうための端子です。
この端子に㊉12Vがかかっている間、本機の電源がONになります。

●本機のREMOTE（リモート端子）⑦をヘッドユニットのリモート出力と接続します。ヘッドユニットにリモート出力がない場合には車体のACC端子などをご利用ください。

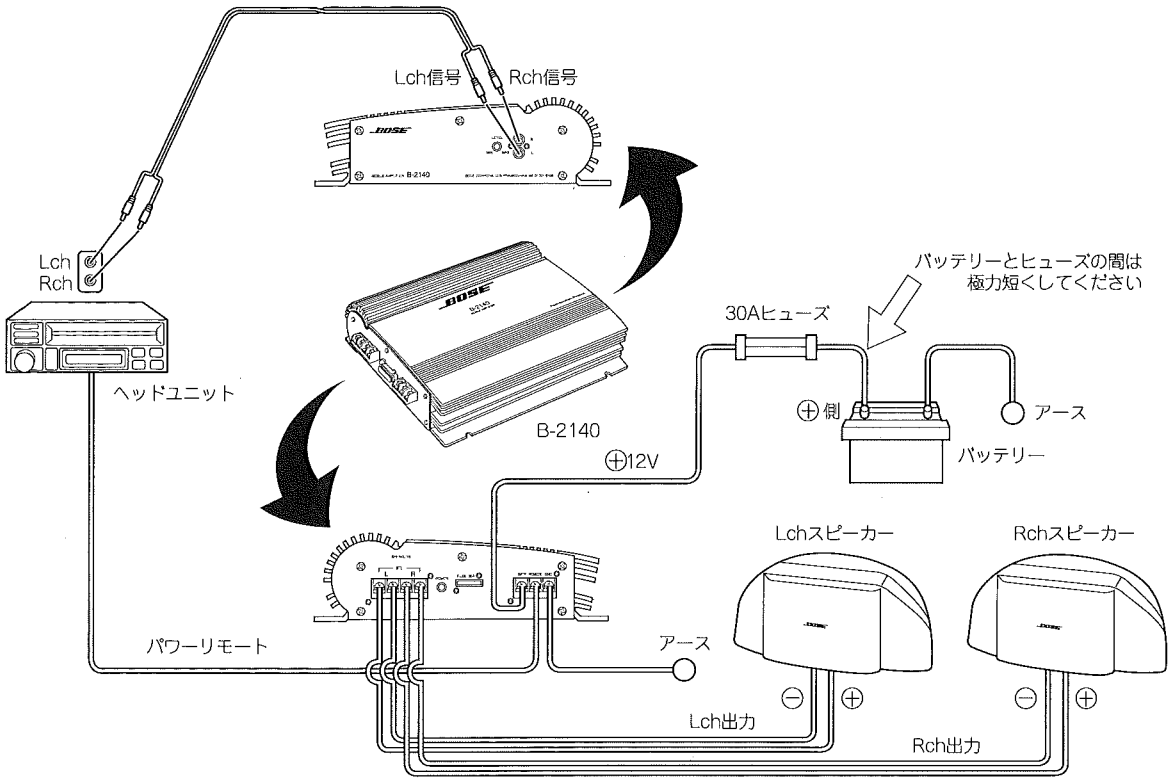
※この端子に常時㊉12Vをかけますと、本機の電源が切れなくなり、バッテリー上がりなどの原因となります。

スピーカーの接続

◆ステレオで使用する場合◆

本機スピーカー出力端子③とスピーカーを接続します。この際、アンプのL（左チャンネル）／R（右チャンネル）とスピーカーのL／R、⊕／⊖の極性を十分確認して接続してください。

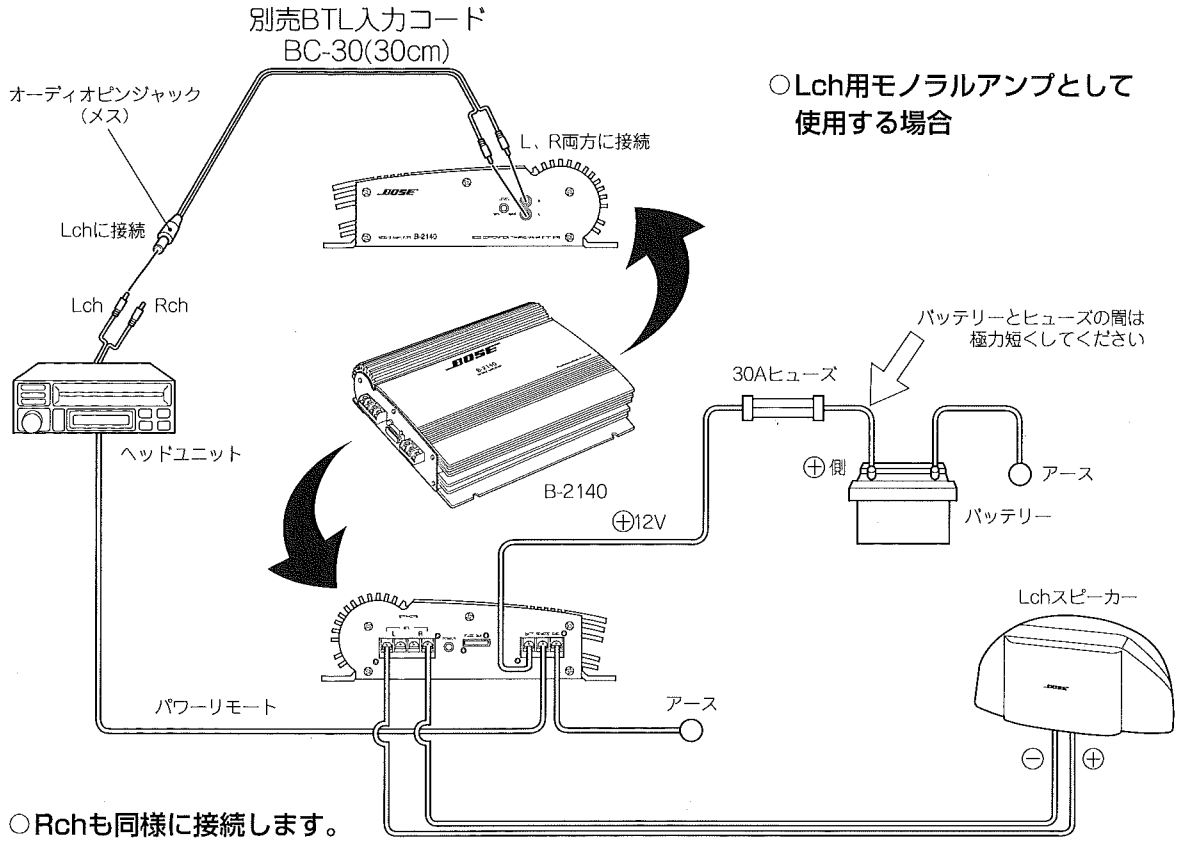
※極性（⊕, ⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなったりします。
また本機スピーカー端子の⊖側は絶対に共通にしないでください。アンプの故障の原因になります。



◆モノラル（BTL）で使用する場合◆

本機は接続を変更することにより、自動的にモノラル（BTL）動作になります。
本機スピーカー出力端子③の外側の２つの端子（Lの⊕とRの⊖）とスピーカーを接続します。この際、⊕，⊖の極性を十分確認して接続してください。

※モノラルで使用する場合、絶対にスピーカー出力端子の⊖側をシャーシに落としたり、左右の⊖側を共通にしたりしないでください。アンプの故障の原因になります。



○Lch用モノラルアンプとして使用する場合

○Rchも同様に接続します。

システム調整について

システムの調整を行なう前に再度接続を確認してください。すべてのネジ類、接続コード類が確実に装着されているか、確認してください。装着が完全なことが確認できたら、作業を行なう前に外しておいたバッテリーの⊖端子を元の状態に戻し、車のキーを“ACC”（もしくはON）の状態にします。

音量の調整（○数字は各部の名称をご参照ください）

1. 本機のLEVEL（入力レベル調整ボリューム）②を含むすべてのシステムのボリュームを最小及びMINの状態にします。

2. ヘッドユニットのスイッチをONにします。この時バランスとフェーダーコントロールは中央の位置にあわせておきます。

3. 本機のパワーインジケーター④が黄色に点灯しているか、確認します。

4. ヘッドユニットのボリュームをゆっくりと上げていき、左右のスピーカーから音が正常に再生されているかを確認します。

5. 正常に再生されていることが確認できたら、次にヘッドユニットのボリュームを60%程度まで上げ、本機のLEVEL（入力レベル調整ボリューム）②を徐々に上げていき、スピーカーから再生される音が歪まず、かつ十分な音量が得られる位置に設定します。

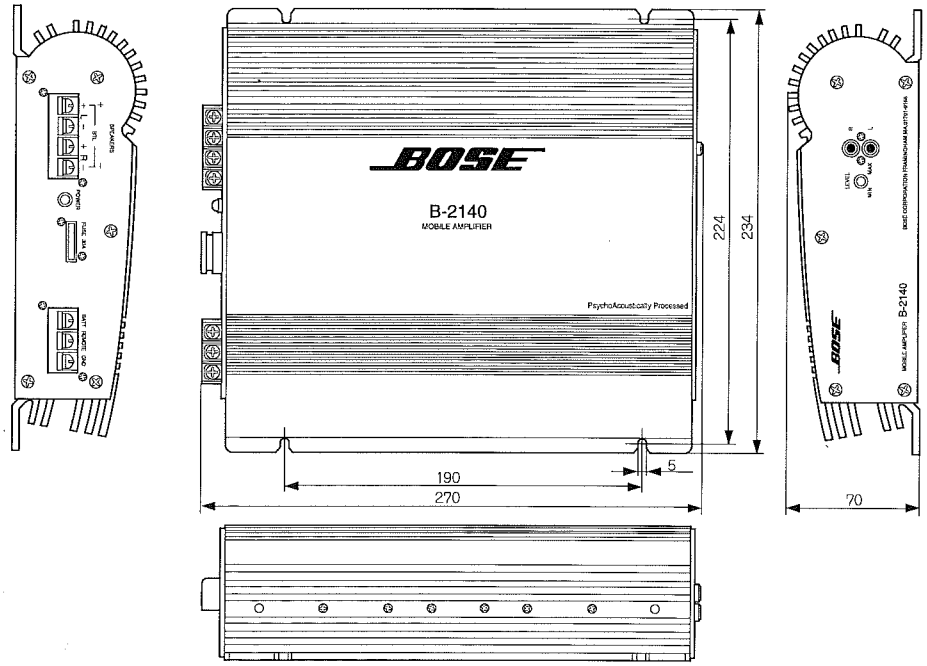
※LEVEL（入力レベル調整ボリューム）を少し上げただけで再生音が歪んでしまう場合は、ヘッドユニットのボリュームを低めに設定してください。

6. 音量の調整が終了したら、ヘッドユニットの電源をOFFにするか、車のイグニションスイッチをOFFにしたときに本機のパワーインジケーター④が消灯し、電源がきれることを確認してください。

故障？と思われる時　サービスをご依頼になる前にチェックしてみてください

現　象	原　因	対　策
音が出ない（パワーインジケータが点灯しない）	バッテリー（BATT）、グラウンド（GND）、リモート（REMOTE）が正しく接続されていない ヒューズが溶断している	接続を確認する バッテリー（BATT）、グラウンド（GND）が逆に接続されている可能性があるので確認する
音が出ない（パワーインジケータが点灯する）	ピンジャック及びスピーカーコードの接続が不完全 保護回路が働いている	接続を確認する スピーカーコードの⊕/⊖　がショートしていないか確認する
突然音が出なくなった（本機に触れると非常に発熱している）	保護回路が働いている	長時間大きな音量で使用しない（本機の温度が下がると自動的に復帰します）
音が小さい	入力レベルボリュームが最小になっている	ボリュームを調整する
低音が損なわれた再生音で音像が定まらない	L,Rいずれのスピーカーコードが⊕/⊖逆に接続されている	スピーカーコードの⊕/⊖を正しく接続する
ノイズがでる	ピンコードの接続が不完全 ピンコードの不良 グラウンドの不良	ピンコードをしっかりと差し込む ピンコードを交換する アース線とアースポイントを再検討する

寸法図



仕　様

適合負荷インピーダンス	ステレオ時 2Ω以上，モノラルBTL時 4Ω以上
定格出力	70W+70W（両チャンネル駆動，4Ω，1kHz，0.05%THD）
	90W+90W（両チャンネル駆動，2Ω，1kHz，0.2%THD）
	180W（BTL，4Ω，1kHz，0.2%THD）
S/N比	90dB以上（IHF-A）
全高調波歪率	0.05%以下（両チャンネル駆動，4Ω，1kHz，60W時）
入力感度	250mV（入力レベルボリューム最大）
電源	直流12V，マイナスアース専用
最大消費電流	30A
サイズ	270(W)×70(H)×234(D)mm
重量	2.9kg
付属品	スペアヒューズ（30A）1本

保　証

通常の使用において発生した故障に対しては、ご購入時より1年間の保証をさせていただきます。本機を分解したり、改造を行ないますと、期間中でも保証が受けられなくなりますので、ご注意ください。

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

BOSE®
Better sound through research.
ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル TEL 03-5489-0955

94・12-0.5K-A・1(I-M) OM-1026